

## 2 育ちゆく体とわたし (教科書P.12~25) 【配当時間：4時間】

### ～4年『育ちゆく体とわたし』の取り扱いについて～

新学習指導要領の趣旨に則り、教育課程を編成し、学校教育活動を実施するにあたって、学校現場や社会情勢などの状況を踏まえ、今後想定される新型コロナウイルス感染症の第2波の危険性など、緊急の場合に適切に対応することが求められます。これから実施される感染症予防対策等で、変化する生活環境や思春期の身体的・心理的变化などに対応するため、4年生の”育ちゆく体とわたし”の単元も重要な学習と考えられます。また、指導計画通りの体育実技授業の実施が困難な場合などは、保健授業を先に実施する等、柔軟かつ臨機応変な対応をとることも考えられます。その際、『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.5.22Ver.1) [文部科学省]』を参考にし、感染症対策を十分に行った上で、授業を実施することが必要です。

### ～学習活動の場と授業時間数について～

分類	学習活動の場	時間数
A	学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動	3
B	学校の授業で取り上げることが望ましいが、学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動	1

※分類A、Bともに、児童があらかじめ自宅等で知識の習得を図った上で実施し、話し合い活動等につなげることもできる。

※特例的な対応として、年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終えることが困難な場合は、一部内容を次年度以降に移して指導することもできる。その際は、教員間の引継ぎを徹底する等、遺漏のないように配慮する。

### ～指導順序について～

内容のまとめり (学習指導要領)	単元計画 配当時間	分類	学習内容
体の発育・発達	第1時	A・B	※ 学習への動機付け
			1 体の発育
思春期の体の変化	第2時	A	2 思春期の体の変化
	第3時	A	3 思春期の心の変化
体をよりよく発育・発達させるための生活	第4時	A・B	4 体のよりよい発育
			☆ わたしのすくすくせん言

●第2時と第3時は入れ替え可。



※感染症対策の観点から、指導順序を変更する必要がある学習活動は特にはないと考えられるが、第2時と第3時は状況に応じて入れ替えて実施することもできる。

※新型コロナウイルス感染症予防に関する指導は、授業時間の確保が難しい場合も含め、「保健」の授業時間以外のあらゆる場面を通して指導することが考えられる。その際、文部科学省作成の『新型コロナウイルス感染症の予防』 ([https://www.mext.go.jp/content/2020501-mext\\_kenshoku-000006975\\_5.pdf](https://www.mext.go.jp/content/2020501-mext_kenshoku-000006975_5.pdf)) を参考にするとよい。

～学習指導要領の内容～

体の発育・発達について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 体の発育・発達について理解すること。

- 体は，年齢に伴って変化すること。また，体の発育・発達には，個人差があること。
- 体は，思春期になると次第に大人の体に近づき，体つきが変わったり，初経，精通などが起こったりすること。また，異性への関心が芽生えること。
- 体をよりよく発育・発達させるためには，適切な運動，食事，休養及び睡眠が必要であること。

イ 体がよりよく発育・発達するために，課題を見付け，その解決に向けて考え，それを表現すること。

～単元の目標～

ア 知識	イ 思考力，判断力，表現力等	ウ 学びに向かう力，人間性等
年齢に伴う体の変化と個人差，思春期の体の変化，体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができるようにする。	体の発育・発達について，課題を見付け，その解決に向けて考え，それを表現することができるようにする。	体の発育・発達について，健康の大切さに気付き，自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができるようにする。

～単元の評価規準～

知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体は，年齢に伴って変化することを理解している。また，体の発育・発達には，個人差があることを理解している。</li> <li>・体は，思春期になると次第に大人の体に近づき，体つきが変わったり，初経，精通などが起こったりすることを理解している。また，異性への関心が芽生えることを理解している。</li> <li>・体をよりよく発育・発達させるには，適切な運動，食事，休養及び睡眠が必要であることを理解している。</li> </ul>	体がよりよく発育・発達するために，課題を見付けている。また，その解決に向けて考えているとともに，それらを表現している。	健康の大切さに気付き，体の発育・発達についての学習に進んで取り組もうとしている。

～各時間の学習活動，評価規準の設定例～

時 [分類]	学習内容	教科書 ページ	学習活動 (※1)	時間 の 目安	評価規準の設定例			評価の 方法例 (※2)	
					知識	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度		
第1時 [A・B]	※ 学習への動機付け	P.12	【単元の目標】 おとなになるまでには，体や心に，どのような変化が起こるの だろう。						
			☆ つながる命について，考える。	5分 [B]					
	1 体の発育	P.13～15	【本時の目標】 わたしたちの体は，どのように発育していくのだろう。	身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について，理解したことを言ったり，書いたりしている。	体の発育・発達について，身長や体重などの年齢に伴う体の変化や個人差から課題を見付けている。	体の発育・発達について，自己の生活と比べたり，関連付けたりするなどして，体をよりよく発育・発達させるための方法を考えているとともに，考えたことをワークシートなどに書いたり，発表したりして友達に伝えている。	体の発育・発達について，課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や教科書や資料などを調べたり，自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。	●発言 ●話し合い ●ワークシート① ●【教】 P.13, 14への記入	
			1 1年生から4年生までの身長のおびを調べて，教科書のグラフに色をぬる。						10分 [B]
			2 年れいにもなって，身長や体重は，どのように変化しているのか，調べる。						10分 [A]
3 発育のしかたには，どのようなちがいがいいのか，話し合う。	10分 [A]								
4 【新しい自分にレベルアップ】 これまでの自分の発育について，考える。	10分 [B]								
第2時 [A]	2 思春期の体の変化	P.16～19	【本時の目標】 おとなに近づくにつれて，わたしたちの体に，どのような変化が起こるの だろう。	・思春期には，体つきに変化が起こり，人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることや，変声，発毛が起こることについて，理解したことを言ったり，書いたりしている。 ・思春期には，初経，精通が起こり，また，異性への関心も芽生えることについて，理解したことを言ったり，書いたりしている。	体の発育・発達について，思春期の体の変化から課題を見付けている。	●発言 ●話し合い ●ワークシート② ●【教】 P.16への記入			
			1 年れいにもなって，体つきはどのように変化していくのか，話し合う。				15分		
			2 思春期のころ，体にはどのような変化が起こるのか，調べる。				10分		
			3 体の中では，どのような変化が起こるのか，調べる。				15分		
			4 【新しい自分にレベルアップ】 これからの自分の発育について，考える。	5分					

第3時 [A]	3 思春期の心の変化	P.20, 21	【本時の目標】 おとなに近づくとつれて、わたしたちの心に、どのような変化が起こるのだろうか。		・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることや、変声、発毛が起こることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ・思春期には、初経、精通が起こり、また、異性への関心も芽生えることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。	体の発育・発達について、思春期の体の変化から課題を見付けている。	体の発育・発達について、自己の生活と比べて、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達させるための方法を考えているとともに、考えたことをワークシートなどに書いたり、発表したりして友達に伝えている。	体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や教科書や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。	●発言 ●話し合い ●ワークシート③ ●【教】P.20, 21への記入	
			1	思春期には、異性の友達との遊び方に、どのような変化が起こるのか、話し合う。						10分
			2	異性への関心のあらわれ方について、今の自分に当てはまるものに○をつける。						10分
			3	異性の友達との関わり方について、話し合う。						15分
			4	教科書の絵の場面では、相手にどのような言葉をかけるか、考える。						10分
第4時 [A・B]	4 体のよりよい発育	P.22～25	【本時の目標】 体のよりよい発育のためには、どのようなことが必要なのだろうか。		体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。	体の発育・発達について、体をよりよく発育・発達させるための生活から課題を見付けている。		●発言 ●話し合い ●ワークシート④		
			1	食事、運動、休養・すいみんは、体の発育とどのように関係しているのか、調べる。					10分 [B]	
		2	運動、食事、休養・すいみんの3つの大切さについて、考える。	25分 [A]						
	☆ わたしのすくすくせん言		【けんこうせん言をして、みんなでけんこうになろう!!】 ☆ 単元全体をふり返り、これからの生活に役立てたいことを宣言し、話し合ったり、理由を記入して発表したりする。	10分 [B]	体の発育・発達について理解している。	体の発育・発達について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現している。	体の発育・発達について、健康の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組んでいる。	●発言 ●話し合い ●【教】P.25への記入		

※1 Bの活動で学習する場合、話し合ったり発表したりする活動については、シミュレーションにて対応することもできる。

※2 Bの活動で学習する場合、発言・話し合いについては、シミュレーションにて対応することもできる。